

2022（令和4）年度
学校関係者評価 報告書

学校法人 東杜学園
国際マルチビジネス専門学校

2022（令和4）年度 学校関係者評価報告書

学校法人東杜学園 国際マルチビジネス専門学校では、教育理念、教育目的等をはじめとする学校教育及び学校運営について現状を点検し、その改善を図るため自己点検・自己評価を実施し「2022（令和4）年度自己点検評価報告書」を取りまとめ、当校ホームページに公開致しました。

また、学校関係者評価委員会を設置し、本校に関連する業界・企業の皆様より当校の学校教育及び運営に対しご意見やご指導を頂きました。

頂戴致しましたご意見等につきまして「2022（令和4）年度学校関係者評価報告書」としてご報告させていただきます。

委員の皆様から頂戴いたしました貴重なご意見やご指摘を今後の学校運営に反映させ、教職員一同社会のニーズに応えられる学生指導と教育の質のさらなる向上を目指して参る所存です。

関係者の皆様には、今後共なお一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

2023（令和5）年9月
学校法人 東杜学園
国際マルチビジネス専門学校
校長 野口 和江

1 学校関係者評価委員会

（1）学校関係者評価委員

高木 友子 氏 公益財団法人日本ケアフィット共育機構 事務局長

伊藤 彰徳 氏 名鉄観光サービス株式会社仙台支店 副支店長

齋藤 康紀 氏 仙台ターミナルビル株式会社 ホテルメトロポリタン仙台
総支配人室 室長

板垣 佑子 氏 Across THE Universe 店長

加藤 ゆかり 氏 株式会社留学ジャーナル 代表取締役副社長

（2）対象期間

2022（令和4）年4月1日～2023（令和5）年3月31日

（3）評価項目、評価スケール

4（適切）、3（ほぼ適切）、2（やや不適切）、1（不適切）の4段階評価にて行った「2022（令和4）年度自己評価報告書」を基本に、評価項目別に委員会から頂戴した評価、意見並びに提案を以下に報告致します。

(4) 学校関係者評価

評価項目1：教育理念・目標

・非常に強固な学園の「伝統と信頼」を基盤に、本校の面倒見の良さや教員の熱意等が現在の本校を作り上げている。先人に学ぶことに加え、学校＝コミュニティが環境や状況を理解し自創した、時代に沿った価値であり、重要な点と評価する。

評価項目2：学校運営

評価項目3：教育活動

・特に委員会からの意見はなかった。

評価項目4：学修成果

・「学んだ分野で社会に出る」ことの重要性、またそれができる機会を就職率 100%という結果で示せたことは素晴らしい。

・同窓会、学友会開催は、卒業後も「繋がっている」という良い意識が生まれるのではないかと。

評価項目5：学生支援

・支援体制は整備されている。

・卒業生の就業動向を把握し、卒業後の支援体制構築について、人材確保の点からも非常に興味深いものがある。

・価値観の多様化が進み、社会が許容する考え方や行動の範囲が広がった。いかに相互理解を深め、共に働き生きていくかを考えていく時代と思う。

評価項目6：教育環境

・定期的な見直しや改善を行っており、適切である。

評価項目7：学生受け入れ募集

・数多くの教育成果や就職内定者速報を Instagram に定期的に掲載している、時代に沿った募集活動と思う。

評価項目8：財務

評価項目9：法令等の遵守

・財務状況、会計監査、法令の遵守については適正に行われている。

評価項目10：社会貢献・地域貢献

・特に委員会からの意見はなかった。

評価項目11：国際交流

・外国人留学生の日本で学びたい理由の一つとして、将来日本で生計を立て、家族を呼び寄せたいケースがあげられる。日本語学校とも連携し、募集・入学時に学生の環境、状況確認が必要ではないか。

(5) 課題

- ・価値観の多様化の中、いかに相互理解を深め、共に働いていくか
- ・卒業生の支援体制
- ・外国人留学生に対する戦略やその対応

以上の内容を学内で検討し、改善案をまとめ次回以降の改善を目指す。

以 上